

教科 家庭 科

科目	子どもの発達と保育	学年・コース	3 学年	コース	単位数	2 単位	区分	選択
学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達の特性や発達過程を理解する。 ・保育に関する知識と技術を習得する。 ・保育実習を通して子どもとのかかわる能力と態度を育てる。 							
教科書	「子どもの発達と保育」 実教出版							
補助教材等	「最新 生活ハンドブック 資料&成分表 2022」 第一学習社							
学期	月	学習内容			学習のねらい			時間
1	4	発達と乳幼児期の意義 発達と保育環境			乳幼児期が人間の発達において大事な時期であることを理解する。 子どもが生まれながらにして備えている「育つ力」を十分に引き出す環境について考える。			8
	5	児童館と発達観 子どもの発育			子どもの権利条約に至った歴史的経緯について学ぶ。 受精から胎児期・新生児期・乳幼児期へと続く発育の過程を知る。			8
	6	子どもの精神発達・おもちゃの製作			運動機能や感覚機能、知的能力、言語能力、情緒などの側面から子どもの心の発達の様子を知る。			8
	7	人間関係の発達 保育の意義と重要性			乳幼児期の愛着関係の重要性とその形成過程を知り、子どもの人間関係の広がりや人格形成について考える。 子どもや家庭を取り巻く状況の変化について学び、保育とは何かを考える。			7
2	8	家庭保育と集団保育			子どもと親とのかかわり方、集団保育の意義、現在の動向、今後の課題について学ぶ。			2
	9	保育の方法・保育実習			保育者に求められる役割と指導のポイントを学習し、実際に子どもと触れ合っ、子どもとのかかわり方を考える。			8
	10	生活と養護			子どもの養護のポイントを知る。			8
3	11	子どもの遊び			子どもの成長にとって遊びが大切な役割をしていることを知り、子どもの月齢にあった絵本の読み聞かせやおもちゃの製作ができる。			8
	12	生活習慣の形成 健康管理と事故防止			乳幼児期は生活習慣を身につける大切な時期であることを知り、そのための適切な援助の方法を考える。 子どもの健康と安全を守るためのポイントを知る。			8
	1	子どもの福祉 子育て支援			子どもに関する法律や制度を知り、子どもが健全に育つための理念を知る。 子どもが健全に育つための社会的支援について学び、今後の課題について考える。			5

評価の観点	知識・技能	子どもの発達の特性、生活と保育に関する知識を身につけている。 保育に関する基礎的・基本的な技能を身につけている
	思考・判断・表現	子どもの発達を踏まえ、現状について見直し、課題を見つけ、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し想像する能力を身につけている
	主体的に学習に取り組む態度	子どもについての関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、子どもの発達や子育て支援に寄与していこうとしている